

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	北澤知子
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	245-0784
<b>事務事業名</b>	4311 図書館管理運営事業											
<b>所 属</b>	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
<b>施 策</b>	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100603 教育費・社会教育費・図書館費										
	<b>事業</b>	020000 図書館管理運営事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽に利用できるよう図書館事業を推進する。						図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催をととした市民の生涯学習活動の支援						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	年間入館者					単位	人
算式	年0.5の増						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	115,680	126,615	132,370	138,126		143,881
	実績						
指標選定の理由	多くの方に利用していただくことが重要であるため。						
最終年度目標の根拠	平成26年度利用者数（115,105人）より、年0.5%ずつの増						
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決算	令和3年度 予算
事業費		46,408	47,528
特定財源	国庫支出金	417	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	18,148	4,157
一般財源		27,843	43,371
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	7.9	7.9
人員コスト	正規職員	2,090.4	2,090.4
	嘱託職員	3,149.0	3,149.0
	臨時職員	13,256.2	13,256.2
	計	18,495.6	18,495.6
市民一人当たりの経費		1.2	1.3
総額		64,903.6	66,023.6

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	104	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼104
10節 需用費	4,715	消耗品費625、燃料費14、食糧費19、光熱水費2,269、印刷製本費180、修繕料1,608
12節 委託費	3,425	保守点検委託料1,936、施設管理委託料505、ほか984
14節 工事請負費	234	正面玄関手すり設置234
18節 負担金補助及び交付金	42	県公共図書館部会・支部負担金18、須高図書館協会負担金0、日本図書館協会負担金23、ほか1
その他	37,888	報酬12,431、役務費421、使用料及び賃借料6,964、備品購入費10,434等

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	180	講師謝礼
10節 需用費	5,525	光熱水費（電気料）、光熱水費（ガス料）等
12節 委託費	3,861	保守点検委託料、施設管理委託料 等
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	318	県公共図書館部会・支部負担金、須高図書館協会負担金、日本図書館協会負担金 等
その他	37,644	図書購入費、機器賃借料 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	コロナ禍の中においても、市民の生涯学習の支援は必要であり、図書の貸出や学習場所の提供は必要であると考える。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	コロナ禍の中、市民の在宅時間の充実のために読書は有効であり、図書の貸出を年間を通して続けたことは、市民生活をおくるうえで大いに貢献できたと考える。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	コロナ禍の中、感染対策や工夫をしながら開館、貸し出し等を続けてきたが、コロナ対策に時間と人手が多くとられている現状をふまえ、より安全でよりよい方法をさらに考えていく必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍の中、対策や工夫をしながら開館し、貸し出し等を続けてきたが、講座への参加人数は抑制するしかなかった。しかし、コロナ対策のために積極的に市民の生涯学習の支援ができた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

図書館奉仕は生涯学習及び社会教育に有効な施策である。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

図書館の原点に立ち、学びの支援と活字文化の継承に継続的に取り組んでいく必要がある

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--